

希望と信頼の市政

～「緑のキラリと輝くまち・亀山」～

このたびの市長選挙におきまして再選の栄を賜り、引き続き市政を担わせていただくことになりました。身の引き締まる思いであり、この上は市民の皆様から託された想いに応えるべく、公の責務に全力を傾注する覚悟であります。

私は、就任直後の平成21年3月市議会において、希望と信頼の「開かれた市政」と「持続可能なまちづくり」へ挑戦する決意を申し述べ、以来、全庁一丸となり最善の努力を積み重ねてまいりました。今後も、この8年の歩みを礎として、さらに進化させたいと決意するものであります。

今日、都市自治体は人口減少や少子高齢社会の進展を背景に、地方創生による地域間競争が進み、その総合力が問われています。新市施行から12年の歩みを経て「5万人都市・亀山」は、今後も持続的に成長し続ける都市でありたいと考えております。誰もが日々、愛着と幸福を実感できる、ずっと暮らし続けたい『クオリティ・オブ・ライフ（暮らしの質）』の実現を目指します。そして、それらを磨き上げ、将来世代へ継承させたいと強く願うものであります。

そのためには、豊かな自然や歴史文化、活力につながる交通拠点性と産業基盤、多彩な市民・地域活動など、亀山市の特性を活かしたまちづくり・ひとづくりが不可欠です。特に、若い世代の定住へとつながる子育て・教育環境の充実や活力ある産業・地元雇用の創出、すべての団塊世代が75歳を迎える2025年問題に備えた「地域包括ケアシステム」の確立と「健康都市」の実現は、本市の真価が問われているものと考えております。

このような基本認識のもと、私は、次なる4年の政策公約として2017マニフェスト「新生 亀山クオリティ」を公表し、7つの分野・88の施策と2つの戦略プロジェクトを約束させていただきました。その具現化に向け、新たな決意をもって「希望と信頼の市政・次なるステージ」へ臨んでまいります。

一方、このたび、市民の皆様から多くの英知をいただき、将来を見据えた本市の中長期戦略となる「第2次亀山市総合計画」を策定いたしました。その基本構想においては、将来都市像として『歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都

次なるステージへ

をめざして～

かめやま』を掲げ、その実現を目指します。一方、5カ年の基本計画では、6つの施策大綱の下に30の基本施策と5つの戦略プロジェクトをお示しいたしました。

さらに、新たに策定した「中期財政見通し」では、今後も緩やかな減収傾向が続くと考えております。このことから引き続き、「行財政改革」の徹底により、県下有数の暮らしの質と財政健全化の両立への歩みを、着実に進めてまいります。

亀山市には、ポテンシャル（可能性）があります。確かな政策の推進力と、本市の強みである市民力・地域力が融合すれば、もっと魅力的なまちになると確信いたします。

私は、誰もが愛する「緑のキラリと輝くまち・亀山」の実現に向け、「開かれた市政」その次なるステージへ挑戦してまいります。今後とも、市民の皆様のご深いご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



亀山市長

櫻井 義之